

令和元年度第1回調査・研究委員会会議録

◇日 時：令和元年5月17日（金） 13：30～17：00

◇場 所：徳島県立文書館 2階講座室

◇出席者：徳野委員長・宮田副委員長・加藤委員・林委員・嶋田委員・飯島委員・菅野委員・事務局（金原・嵐）

1 配付資料確認

開会・委員長あいさつ

2 自己紹介・副委員長選出

3 報告事項

(1) 調査・研究委員会について・旅費について

(2) 平成30年度第2回役員会結果報告

上記2件については、添付資料のとおりである旨を事務局から説明した。

(3) 後援依頼について

下記2件の後援を了承したことを、添付資料を用いながら事務局から説明した。

・「史料保存利用問題シンポジウム2019」（日本歴史学協会）：4月9日済

・「アート・ドキュメンテーション学会 2019年次大会」（アート・ドキュメンテーション学会）：4月26日済

(4) 災害対応活動について

以下の件について事務局から説明した。

・宮崎地震（5月11日、震度5弱＝宮崎市・都城市）

機関会員1（都城島津邸）と宮崎県文書センターに電話連絡し、確認。

被害なしとの報告を受ける。

4 協議事項

(1) 令和元年度予算及び事業計画について

①研修事業（令和元年度公文書館機能普及セミナーについて）

事務局よりレジュメを用いてこれまでの経緯を説明し、以下の点を確認した。

・会場は山形県庁講堂。山形県としては山形県公文書センターがリニューアルオープンされる2月の開催を希望。しかし、積雪による交通網への影響が懸念されるため、少なくとも年内の開催ができないか交渉中である。

・セミナーのテーマは「公文書館機能について」とし、レコードマネジメントや歴史的公文書の考え方を普及させる内容とする。

・セミナーの内容の構成は、基調講演1本、事例報告2本。講演内容は公文書管理の理論面について、事例報告では実務経験に基づく課題や対策についてを基本路線とする。ただし、事例報告1本については山形県と相談し、地元の方に依頼することとする。会の後半には質疑応答を含めたパネルディスカッションを考えている。

- ・講師、報告者の候補として以下の方々が上がった。
 - ◇東洋大学法学部教授 早川和宏氏
 - ◇神奈川県立公文書館 薄井達雄氏
 - ◇広島県立文書館 安藤福平氏
- セミナーの日程が決まり次第、事務局より打診する。
- ・令和2年度のセミナーは、中四国のいずれかの県で実施する。

②調査事業（研究テーマ設定等について）

- ・研究テーマとして「基礎自治体の公文書管理について」を取り上げる。特に旧役場文書の所在や取扱について、市町村間の差異を示す取組を目指す。
- ・四国内の基礎自治体を対象としたアンケートの実施、自治体への現地調査をおこなう。

③災害対応マニュアルについて

- ・災害発生時における最低限度の活動内容や、人員の派遣に伴う旅費についてなど、全史料協の災害対応をマニュアル化し、各自治体にも周知させる取組を2年間かけておこなう。

④予算・会計について

添付資料の通りであることを事務局より説明した。

(2) 業務担当（委員）の決定

事務局からの提案を了承いただき、以下の通りに決定した。

- ・研修事業…正（令和元年度）：加藤委員，副（令和元年度）：宮田委員
正（令和2年度）：宮田委員，副（令和2年度）：加藤委員
- ・調査事業…正（嶋田委員），副（飯島委員）
- ・災害対応マニュアル…正（林委員），副（菅野委員）

(3) その他

次回委員会について

- 第2回委員会：8月下旬～9月上旬，徳島県立文書館
- 第3回委員会：11月13日（全国大会前日），安曇野市
- 第4回委員会：1月～2月，徳島県立文書館

5 閉会